

# 平成 25 年度事業報告

## I はじめに

サンスターグループの「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」という社是に共鳴し、当財団は今日まで様々な取組みや社会貢献を行ってまいりました。その活動を加速させる為に、昨年6月には、業務執行理事である専務理事の設置など、理事会新役員体制がスタートしました。

また、10月には、社員の健康管理部署である「健康推進室(常勤産業医1名、常勤看護師3名、非常勤薬剤師1名)」が、事業会社から財団に移管され、社員及びその家族の健康維持・増進に関する事業を実施するようになりました。

財務面では、既存の財団領域の事業拡大と、社員の健康増進をテーマとした新しい取組みとしての収益増加により、経常収益が521.8百万円(前年460.7百万円)、経常費用が511.6百万円(前年469.1百万円)、当期経常増減額(税引前営業利益)は10.0百万円(前年▲8.4百万円)となりました。

## II 事業報告

### 1. 学術講演事業

これまで延べ6回開催してまいりました「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー(JSDEI)」の第7回の開催を計画しておりましたが、新たな学術講演スタイルを検討するために今期の実施を見送りました。

### 2. 助成事業

① 金田博夫研究助成基金 平成25年度海外留学生は、「該当者なし」となりました。

本年度で5年目となりますハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センターへの留学生の募集・審査を行い、医師3名、歯科医師2名の合計5名の応募がありましたが、受給者と決定しておりました本人からの辞退により最終的には「該当者なし」となりました。

#### \* 金田博夫研究助成基金(海外留学助成)

糖尿病、糖尿病合併症の予防・治療を目指した基礎研究ならびに臨床への応用研究を支援する。歯科分野、医科分野、栄養学分野、生化学分野等の若手研究者を対象として、当財団が指定する海外の大学等研究機関に2年間留学する渡航費、ならびに滞在費を補助することにより、わが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的として平成21年度に創設されました。

#### ◆ 留学先

米国マサチューセッツ州ボストン市ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター

#### ◆ 助成内容

留学期間は最長2年間とし、渡航費及び滞在費(2年間合計/11万ドル+100万円)を支給する。

現在本研究助成基金の受給者は以下のとおりです。

平成23年度受給者(2名)

医師	藤坂 志帆 (35歳)
留学期間	平成 25 年 1 月～平成 26 年 12 月
所 属	富山大学附属病院 内科医
研究課題	肥満に伴う脂肪組織の炎症とインスリン抵抗性の発症メカニズムについて
歯科医師	片桐 さやか (32歳)
留学期間	平成 24 年 5 月～平成 26 年 4 月
所 属	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野
研究課題	糖尿病患者における歯周組織の血管障害メカニズムに関する研究

#### 平成 24 年度受給者(1名)

医師	佐竹 栄一郎 (37歳)
留学期間	平成 25 年 8 月～平成 27 年 7 月
所 属	浜松医科大学小児科医
研究課題	脂肪細胞の分化・分布・増殖決定因子の解明

累計 6名 (医師 4名 歯科医師 2名)

なお、研究助成基金につきましては、平成 26 年度の研究助成基金につきましては、理事の先生方のご意見を踏まえまして応募要項を改定のうえ、実施する予定です。

#### ② 平成 22 年度海外留学生による留学報告会を開催しました。

留学生の秋山優先生(山口大学大学院)のジョスリン糖尿病センターにおける研究活動に関する報告会を開催しました。

- ・社内講演会 平成 25 年 11 月 22 日(金)
- ・財団理事会 平成 25 年 11 月 23 日(土)

#### ③ (公社)日本歯科衛生士会主催学術賞(サンスター財団賞)に協賛しました。

本年度は、優秀賞1名、奨励賞1名が授賞しました。

- ・優秀賞 小原 由紀 歯科衛生士における作業関連筋骨格系障害の実態
- ・奨励賞 塚田 しげみ 入院患者の歯科衛専門職介入の必要性を判断する為の多職種向けスクリーニング用紙の検討

#### \* 日本歯科衛生士会学術賞

日本歯科衛生学会の創立を記念し平成 18 年に創設されました。学術賞は歯科衛生の向上と実践に根ざした学術研究において優れた成果をあげ、人々の健康と福祉に寄与する研究に対し、その功績を称え、表彰します。本学術賞は、学術論文賞(サンスター財団賞)と学術発表賞(ライオン歯科衛生研究所賞)があります。

#### ④ 助成事業の在り方検討会の実施

理事平野次郎先生を中心に、金田博夫研究助成基金などの助成事業の今後の在り方についての検討を始めております。検討結果については平成 26 年度第 2 回理事会にてご報告・提案させていただく予定です。

### 3. 調査研究事業

本年度も日本歯周病学会、日本補綴歯科学会、日本口腔インプラント学会をはじめ、歯科専門分野の学会や講演会に附属千里歯科診療所歯科医師、歯科衛生士が多数参加し、最新の研究成果や学術情報の収集に努めました。また、日々の臨床で得られた知見をまとめ、歯科大学や歯科衛生士会などで講演、発表を行いました（活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(5)～(6)」を参照）。

### 4. 臨床教育事業

大阪、兵庫地区の歯科衛生士学校の実習生 12 名（神戸常盤短期大学 4 名、大阪歯科学院専門学校 4 名、太成学院大学 4 名）に対し、のべ 93 日間の臨地教育を行いました。

臨地教育内容としては、歯科医療の知識・技術を幅広く実習することを目的として、治療アシスタント業務や歯科保健指導の見学、消毒滅菌システムの実習などを行いました。

### 5. 歯科健診・保健指導事業

予防事業部が行った産業歯科健診活動および歯科保健活動の対象者は、今年度は 668 件・80,602 人でした（活動詳細は別紙「IV. 事業活動詳細報告の(1)～(3)」を参照）。

事業収益の柱である歯科健診事業においては、依然、顧客である健康保険組合の財政が厳しい状況が続いています。このような中、平成 25 年 6 月に厚労省から「データヘルス計画」が掲げられ、今後、健康保険組合の保健事業が見直される状況にあります。本年度は、歯科健診の重要性を掲げたこれまでの普及活動が実を結び、新たに歯科健診に取り組む健保・団体が 7 つ増え、前年比 6,658 人増の 40,906 人と増加しました。

また、超高齢者社会を向かえ介護における口腔ケアの重要性や医療費削減を目的としたセルフケアの推進などが求められる状況にあり、医療機関の職員、セルフケアドラッグストアの薬剤師・管理栄養士などを対象とした歯科保健セミナー等の歯科保健指導活動を事業会社との連携で進めてまいりました。同事業における事業収益は前年比 27 百万円増の 203.7 百万円となりました。事業費用において事業運営の効率化を推進することで、当期一般正味財産増減額（税引前利益）は前年比 20 百万円増の 25.5 百万円となりました。

#### (1) 産業歯科健診活動

口腔内の健康維持増進を目的に、今年度は全国 330 事業所・40,906 人（対前年同期比 119.4%）の企業職員・団体構成員に対し歯科健診を実施。また、企業等における歯科セミナー・歯科啓発イベントは 19 件、672 人に対し実施しました。サンスターループ社員に対する歯科健診におきましては、サンスター健康保険組合協力の下、歯科医院への定期的な受療率向上を目的とし、従来の歯科健診に加え 2 次フォローとして歯科保健指導を実施したことで、歯間清掃具の使用率が増え、口腔内の清掃状態は向上しました。

#### (2) 8020 運動啓発などの歯科保健活動

「健康日本 21」政策に準拠し、歯科保健関係部局・歯科医師会等と連携したイベントを全国 159 件・21,041 人を対象に実施しました。大手量販店様でのミッフィーイベントやドラッグストア・ホームセンター等に来店される親子連れに対し、オーラルヘルスケアの重要性、歯周病と全身疾患との関わり

等を中心に、正しいお口のケアの方法とあわせ歯科健康指導を実施。また、公益社団法人東京都葛飾区歯科医師会主催の「ファミリー歯磨き教室」にて地域住民親子に対するブラッシングセミナーを実施しました。

また、新たな取り組みとして、証券会社の顧客を対象とした高齢者向け歯科保健セミナーや、糖尿病と歯周病の関連について病院職員・患者様向け歯科保健セミナー等を実施しました。

### **(3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動**

母親教室・ハミガキ教室・フッ素塗布・歯科健康教育等を年齢に合わせた指導メニューにより、全国 160 件・17,983 人を対象に実施しました。

ブラッシング指導は、高槻市教育委員会との連携により高槻市内小学校 3 年生、中学校 1 年生を対象に実施。フッ素塗布は大阪市学校歯科医会の事業に参画し、大阪市内北部の小学校を中心に実施、幼稚園・保育園に対しては紙芝居等の教材によるハミガキ教室を近畿エリア中心に実施しました。同様に東京都荒川区教育委員会と公益社団法人荒川区歯科医師会（学校歯科医会）と連携し荒川区小学校 3 年生、5 年生、中学校 1 年生を対象にブラッシング指導とフッ化物洗口指導を行いました。

### **(4) 自閉症児に対する歯科保健活動**

養護教諭及び障がい児教育担当教員、自閉症支援の専門療育スタッフと連携し、障がいのある子どもたちの歯科保健の向上をはかることを目的とし、自閉症のお子様への歯みがきの指導及び指導教材の斡旋を本年も継続して実施しました。指導教材の斡旋開始（2007 年）から累計 2,641 冊、絵カード 551 組、動画 571 本を提供してきました。

## **6. 歯科診療事業**

本年度は当財団附属千里歯科診療所において、前年比 161 人増の、のべ 24,910 人（内、障がい児{者} 640 人）の患者に対し診療ならびにメンテナンスを行いました（内、新患者数は前年と同じく 806 人）。

また、大阪府・堺市・大阪市・兵庫県の小児慢性特定疾患治療研究事業指定診療所として、本年度も延べ 123 人の 1 型糖尿病患者の歯周病治療を行いました。

2015 年の移転に向けての診療効率最大化の検証（ドクターのチェア 2 台担当制、新患・急患の受入れ体制の工夫、TBI 時からの治療相談への対応等）により、事業収益は、保険・自費ともに増収となり前年比 21.7 百万円プラスの 214.6 百万円となりました。当期一般正味財産増減額（税引前利益）についても前年比 6.5 百万円プラスの 26.7 百万円となりました。

## **7. 商品販売**

官公庁（独立行政法人 国立病院機構など）等の公的団体を対象に、各団体の福利厚生の一環として口腔ケア商品の企画提案、斡旋を積極的に推進してまいりましたが、前年比▲7.2 百万円減の 11.4 百万円の商品販売収入となりました。

## **8. 健康推進事業**

昨年 10 月に健康推進室と土室心身健康道場が事業会社から財団へ移管されたことで、社員の歯科予防プラス全身の健康を推進する体制が整備されました。具体的には、①健保・診療所・財団それぞれで保有していた社員の医療情報や健診データを 1 つのシステムに集約することにより、医療費と

健康度の相関などの分析が容易に行えるようになりました。②医療職を中心とした保健事業委員会を財団内に設け、医療・健診統合情報分析システム（EMITAS）を活用した社員の健康増進策の策定と評価を行うPDC Aサイクルを回す運営が可能となりました。

事業会社及び健康保険組合からの健康実態分析の委託などにより、事業収益は 58.9 百万円、また人員の充実（1名増員）や医療・健診統合情報分析システム（EMITAS）の導入などにより事業費用は 47.6 百万円、当期一般正味財産増減額（税引前営業利益）は 11.2 百万円となりました。

## 9. 法人会計

### ①理事会・評議員会等の開催

#### ・平成 25 年度第 1 回理事会

開催日：平成 25 年 5 月 25 日（土）

開催場所：サンスター本社

決議事項：平成 24 年度事業報告についての承認、同年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認、理事候補者、監事候補者の承認

出席：理事 8 名（総数 11 名）、監事 2 名（総数 2 名）、顧問 1 名（総数 1 名）他

#### ・平成 25 年度評議員会

開催日：平成 25 年 6 月 8 日（土）

開催場所：リーガロイヤルホテル大阪

決議事項：平成 24 年度正味財産増減計算書及び貸借対照表、財産目録についての承認、理事及び監事選任の決議、評議員補欠選任の決議

出席：評議員 6 名（総数 7 名）、監事 1 名（総数 2 名）、理事長 他

#### ・平成 25 年度第 2 回理事会

開催日：平成 25 年 11 月 23 日（土）

開催場所：サンスター本社

決議事項：金田博夫研究助成基金「平成 25 年度海外留学交付対象者」の承認、附属千里歯科診療の移転予約契約締結の承認

報告事項：金田博夫研究助成基金 平成 22 年度海外留学の報告

出席：理事 10 名（総数 14 名）、監事 2 名（総数 2 名）、顧問 2 名（総数 3 名）他

#### ・平成 25 年度第 3 回理事会

開催日：平成 26 年 3 月 17 日（月）決議の省略による開催

決議事項：平成 26 年度事業計画の承認

### ②財団全国会議の開催

開催日：平成 25 年 12 月

開催場所：サンスター研修所

会議内容：2014 年度財団事業活動の検討

### Ⅲ 補助金・寄付金収入

#### 1. 補助金

大阪府より障がい者歯科診療補助金 **729,326 円**を交付されました。

#### 2. 寄付金

下記団体より**合計 32,708,300 円**の寄付を受け取りました。

- ・ エクセルエイド奨学短期保険株式会社 8,300 円  
(歯周病・糖尿病の方でも入れる医療・定期保険を扱う少額短期保険事業会社)
- ・ サンスター株式会社 22,000,000 円
- ・ STARLECS 株式会社 10,000,000 円
- ・ サンスターマーケティング株式会社 700,000 円

#### ■ 当財団人員数(平成 26 年 3 月 31 日現在 常勤職員及び出向社員)

	千里歯科 診療所	予防事業部	健康推進室	事務局	合計
歯科医師	4 人				4 人
歯科衛生士	11 人	12 人			23 人
産業医			1 人		1 人
看護師			3 人		3 人
事務職他	3 人	2 人	1 人	3 人	9 人
合計	18 人	14 人	5 人	3 人	40 人

以上

## IV 事業活動詳細報告

### (1) 産業歯科健診活動

①企業・団体の事業所での歯科健診	330 事業所	40,906 人
②企業・団体の事業所イベント・個別歯科保健指導・歯科保健セミナー	19 件	672 人

### (2) 8020運動啓発等の歯科保健活動

①地域・保健所・歯科医師会等での行事・量販店顧客への指導	90 件	17,356 人
②キャンペーン等イベントでの歯科保健指導	11 件	1,739 人
③得意先に対する・歯科保健セミナー・指導	33 件	1,045 人
④コープ組合員様向け・社内行事等における歯科保健指導	15 件	740 人
⑤病院職員・患者様向け歯科保健セミナー・指導	10 件	161 人

### (3) 保育園・幼稚園・障がい児(者)施設・小中学校等の歯科保健活動

①保育園・幼稚園・母親教室における歯磨き指導・歯科健診	33 園	6,050 人
②小・中学校における歯磨き指導・フッ化物塗布	126 校	11,911 人
③心身障がい児(者)施設の訪問歯科健診・保健指導	1 件	22 人

### (4) 主な研究発表、講演

9月	東京デンタルショー	福池
8月	C l u b GP/gIDE グローバルプログラム	鈴木
1月	岡山大学歯学部臨床特別講義	鈴木
2月	和歌山県歯科衛生士会研修会	福池

### (5) 主な学会・講演会参加

4月	日本臨床歯周病学会関西支部	鈴木、福池、野田、前田、吉村、宮辻
5月	日本補綴歯科学会（福岡）	鈴木
	日本小児歯科学会（岐阜）	宮本
	日本歯周病学会（東京）	野田、前田、丸山、宮辻
6月	日本臨床歯周病学会（札幌）	鈴木、福池
	日本老年歯科医学会（大阪）	福池
	大阪府歯科衛生士会研修会（大阪）	福池
8月	日本包括歯科臨床学会（神戸）	吉村
9月	日本口腔インプラント学会（福岡）	鈴木、丸山、吉村
	日本歯科衛生学会（神戸）	福池、野田
	日本歯科医師会感染対策研修会（滋賀）	野田
10月	バイオホライズンズインプラントシンポジウム	鈴木
11月	日本補綴歯科学会（大阪）	鈴木
	日本臨床歯周病学会関西支部（大阪）	鈴木、福池、宮辻
	サイナスシンポジウム（東京）	鈴木
12月	日本臨床歯周病学会認定歯科衛生士研修会	鈴木
1月	大阪府歯科衛生士会学術集会（大阪）	野田、志賀

3月

大阪府歯科衛生士会研修会（大阪）

泉州圏域糖尿病医療連携促進事業研修会（大阪）

近畿デンタルショー（大阪）

福池、志賀

志賀、難波

福池

以上